

事務事業名		観光施設災害復旧事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業				
政策体系	政策名	01 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目				
	施策名	05 豊かな地域資源を活用した観光の振興				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	01 観光客の誘致と観光宣伝の充実				01	11	02	02	00
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 ↓ 28 年度～ 2 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分				
所属	部課名	商工港湾部観光推進室				A 政策事業 B 施設整備				
	課長名	千葉 譲				C 施設管理 D 補助金等				
	係名	電話				E 一般(A～D以外)				
	担当者	紀室 繁喜	内線	114						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
平成23年3月11日発生した東日本大震災で被災した綾里、越喜来浪板、吉浜の各海水浴場トイレ・シャワー室の施設を復旧するもの。 また、令和元年台風19号の影響による土砂崩れにより被災した越喜来浪板海水浴場のトイレ・シャワー室の施設を復旧するもの。				総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金			
							都道府県支出金			
							地方債			
							その他			
							一般財源	265,245		
							事業費計(A)	265,245		
							人件費			
						正規職員従事人数	1			
						延べ業務時間	200			
						人件費計(B)	800			
						トータルコスト(A)+(B)	266,045			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)	名称	単位
綾里海水浴場のトイレ・シャワー室の災害復旧建設工事。 令和元年台風19号の影響による土砂崩れにより被災した越喜来浪板海水浴場のトイレ・シャワー室災害復旧業務に2月から着手。	ア 被災施設数	施設
今年度計画(今年度に計画している主な活動)	イ	
令和元年台風19号の影響による土砂崩れにより被災した越喜来浪板海水浴場のトイレ・シャワー室の災害復旧業務を完了させる。	ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
海水浴場のトイレ・シャワー室	名称	単位
	カ 復旧施設数	施設
	キ 復旧率	%
	ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
海水浴客に快適に利用してもらう。	名称	単位
	サ 海水浴客数	人
	シ 観光入込客数(年実績)	千人
	ス	
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)		
・海水浴客が大船渡市を訪れる。 ・魅力がPRされ、認知度が高まる。		

(2) 総事業費・指標等の推移									
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円		8,100	79,110	104,339	67,716	5,980
	事業費計(A)	千円	0	8,100	79,110	104,339	67,716	5,980	
	人件費	正規職員従事人数	人		1	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間		40	40	40	40	40	
	人件費計(B)	千円	0	160	160	160	160	160	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	8,260	79,270	104,499	67,876	6,140	
⑤ 活動指標	ア	施設		3	3	3	3	3	
	イ								
	ウ								
⑥ 対象指標	カ	施設		0	0	2	3	3	
	キ	%		0	0	66.7	100	100	
	ク								
⑦ 成果指標	サ	人		0	1,051	3,918	4,634	0	
	シ	千人		730	707	697	789	707	
	ス								

事務事業ID	1482	事務事業名	観光施設災害復旧事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
綾里、越喜来浪板、吉浜の3海岸に建設されていた、海水浴場のトイレ・シャワー室は平成23年3月11日に発生した東日本大震災で全壊した。震災後は海岸周辺で復旧・復興関連工事が施工されていたことから海水浴場は休止としていたが、越喜来浪板海岸は平成28年12月に、吉浜海岸は平成29年6月に工事完了の見込みが示されたことから、平成29年7月に海水浴場を再開することとし、併せて施設整備をすることとした。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
市内の海岸では、堤防等の復旧工事が進み、浪板海岸では平成28年12月、吉浜海岸では平成29年6月、綾里海岸は平成30年度に工事が完成した。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
平成26年9月に策定した「大船渡市観光ビジョン」では、被災した施設の早期復旧に取り組むこととしている。また、越喜来地区からは、海水浴場の早期再開のためトイレ・シャワー室の復旧について要望されていた。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	トイレ・シャワー室の整備により海水浴場が快適に利用でき、海水浴客は増加することから、豊かな地域資源を活用した観光の振興の政策と結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	トイレ・シャワー室の管理は市が行っていることから、施設の災害復旧を市で行うことは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	被災した施設の災害復旧であり、対象・意図は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	原形復旧事業であり、成果の向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	事業廃止により海水浴客の減少が懸念される。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	原形復旧に係る必要最低限の事業費である。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	設計業務は外部へ委託している。また、設計内容については建築技師等から支援を受けており、発注等に係る最低限の業務時間である。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	受益者は海水浴客であり公平、公正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																			
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 吉浜海岸の海中に見つかったガレキの処理については、海岸管理者である岩手県(担当:大船渡農林振興センター)からは、度重なる協議や沿岸広域振興局桝副局長への要望の結果「一般管理費の範囲で除去する」という意向が示されるに至ったが、一般管理費の範囲でのガレキ処理可能量はごく少数であり、海水浴場の抜本的な環境整備に係る事業実施主体及び事業費の財源が課題である。	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		コスト			削減	維持	増加	向上				維持			×	低下		×	×
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上																				
維持			×																	
低下		×	×																	

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	・東日本大震災に起因する災害復旧については、令和元年度に綾里海水浴場トイレ・シャワー室が完成し、被災した海水浴場のトイレ・シャワー室は、すべて復旧した。その後、令和元年度台風19号により被災し復旧業務を行っている越喜来浪板海水浴場トイレ・シャワー室についても、令和2年7月に完成予定である。